

## 7月号看護部長通信

7月7日は七夕です。既婚者の私も七夕の日は雨が降らないように、どうか織姫と彦星が会えますようにとの思いを巡らす1日となっています。とても心躍ります。

さて、当院では7月3日、療養病棟において生け花会が催されました。この会の趣旨は、療養病棟入院中の方が、少しでも生け花の清く美しい姿を見て生きる礎になればということで、療養病棟の担当医である当院副院長の倉光せつ先生の心優しい思いから始められたということです。とても熱い心の持ち主で尊敬に値する素晴らしい先生です。

私も以前勤めていた病院のことを思い出しました。光市内の病院に勤務していた時、初めての療養病棟開設の師長を経験したことがあります。今から17年前になります。その頃は介護保険が開始されたばかりで、療養病棟が増え始めた頃でした。あの頃に痛切に思ったことは、これからの高齢化社会への取り組みに療養病棟が増床され、看護・介護の役割も大きな変動を起こすだろうと予測していたので、ゼロからのスタートで熱く燃えていたことを懐かしく思います。

当院に就職して4か月目になりますが、療養病棟に入るとなぜか心穏やかになり、懐かしさを覚える時間となっています。

閑話休題。私も生け花会で少しでもお役に立とうと、歌を披露させていただきました。

「人生いろいろ」、「365歩のマーチ」、「天城越え」、「舟歌」、「青い山脈」、「上を向いて歩こう」の6曲に、キーボード奏者の角谷由美子様が花を添えてくださいました。

当日は台風7号が猛威を振るうという情報もあり、ご家族様のご参加がどうなのか気がかりではありましたが、結果として患者様とご家族様を併せて60名の参加があり、ほっとしました。

昔懐かしい歌もあり、ご参加いただいた方にマイクをお渡しすると、何と滅茶苦茶上手ではありませんか。どこかの専属歌手でも通用する腕前の方もおられました。また、涙ぐんでおられる方もいらっしゃいました。生きている花の力とこの歌の年代に生きた方の歴史的瞬間が相まって、とても素晴らしい一体感があり、大変楽しい時間になりました。

今回、この会にご参加いただいた全員の方に感謝申し上げます。

最後になりましたが、お花を提供してくださった倉光副院長先生に重ねて感謝申し上げますとともに、この会を支えてくれている療養病棟のスタッフの皆様にもありがとうの言葉を贈りたいと思います。

今月は、始まったばかりですが、幸先のいいスタートになりました。暑さにめげず頑張りますよう。

平成30年7月4日

看護部長 伊藤 節美

